

ぶらあ〜と通信

発行元 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」
〒086-1110 北海道標津郡中標津町西10条南9丁目1番地4
電話 0153-73-3178
ファックス 0153-73-3179
電子メール nemurokeniki.soudan2@apost.plala.or.jp
ホームページ <http://www.dofukui.or.jp/access-nemuro/>

第8号

前号の発行から6カ月が経過してしまいましたが第8号を発行いたします。北海道の相談支援体制の方向性が示されてから発行しようと考えていましたが、道財政も厳しいようで、はっきりした方向性がなかなか示されない状況となっています。今後、北海道の相談支援体制の方向性が決定いたしましたらまたご報告させていただきたいと思っております。

施設利用者地域意向調査の実施について

前号でもお知らせしたとおり、4月から6月にかけて、根室管内の施設のご協力を得ながら当センターでも施設入所者の意向調査（本人への聞き取り調査）を実施させていただきました。

まず、聞き取り調査の前に「利用者説明会」ということで入所している方への情報提供として実施しました。

【内容は】

- ① 今回の調査の説明（保健福祉事務所からの説明）
- ② 利用者説明会用のDVDの視聴（実際に地域で生活している方のDVD上映）
- ③ ピアサポーターとの交流（釧路からのピアサポーターとの交流やGHで生活している方の体験談やお気持ちについてお話させていただきました）

簡単ではありますが、上記の「利用者説明会」を実施した後に聞き取り調査を始めました。

個別の聞き取り調査は、各施設のご協力を得ながら一定数の方の調査を当センター残りの入所者については、施設の職員に実施させていただきました。

聞き取り調査の内容は以下の通りです。

【聞き取り調査内容】＊主な内容の抜粋です。

問 どこで生活したいですか？

《選択肢》 ・ちがうところ（施設以外） ・今いるところ（ここ・施設）

問 ちがうところ（施設以外）にしたのはなぜですか？

《選択肢》 ・一人でやってみたい。 ・家に帰りたい。 ・自分の部屋がほしい。 など

問 今いるところ（ここ・施設）にしたのはどうしてですか？

《選択肢》 ・安心 ・助けてくれる ・心配 ・困る ・家の人が心配する。 など

など全部で4項目～7項目についてお聞きしました。

今回の個別での聞き取り調査は、一対一で入所者の生の声を聞くことができ、良い経験になりました。今回の皆さんからお聞きした「お気持ち」は住みやすい街となるために北海道の「障がい福祉計画」に活用されることになっています。皆さんが希望した生活を実現するためのサービスの基盤整備や支援体制づくりに活かされる予定です。

障がい福祉計画意見交換会～第2期計画策定に向けて～

この『障がい福祉計画意見交換会～第2期計画策定に向けて』は、北海道が主催し全道10か所で開催されているものです。釧路・根室管内は平成20年10月26日（日）13:30より釧路市生涯学習センターで開催されました。

今回このような意見公開を実施した北海道の目的は、平成21年度から平成23年度を期間とする「第2期障がい福祉計画」作成に向けて、よりよい計画を作成するために実施されました。

4月～6月頃に実施した入所施設利用者意向調査調査結果の概要報告や計画作成方針について説明を元に意見交換が行われました。

今回、全道で実施された意見交換会での意見を参考にして北海道では「第2期障がい福祉計画」が作成されます。また、この「第2期障がい福祉計画」は各市町村でも作成される予定となっています。

今回は私たちも関わらせていただいた、入所施設利用者意向調査の速報値が公開されたので一部をご紹介します。この調査は第2期障がい福祉計画を作成にあたり、サービス基盤整備の参考とするために実施したものです。

☆調査結果（速報値）

●調査の実施主体

	全道		釧路管内		根室管内	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
圏域センター	763	6.7%	35	9.9%	22	22.2%
相談支援事業所	399	3.5%	0	0.0%	0	0.0%
施設	8,694	76.0%	310	88.1%	71	71.7%
調査不同意・未記入	1,590	13.9%	7	2.0%	6	6.1%
合計	11,446	100.0%	352	100.0%	99	100.0%

●どこで生活したいですか？

	全道		釧路管内		根室管内	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ちがうところ（施設以外）	3,450	30.1%	102	29.0%	48	48.5%
今いるところ（ここ・施設）	4,037	35.3%	89	25.3%	18	18.2%
不同意・未記入	3,959	34.6%	161	45.7%	33	33.3%
合計	11,446	100.0%	352	100.0%	99	100.0%

●「ちがうところ」にした理由として （全道の速報値より）

【「家に帰りたい」19.8%】、【「自分の部屋がほしい」16.4%】、【「仕事をしたい」15.1%】、【「ひとりでやってみたい」13.2%】となっています。

その他の声として、「自由に外出したい」「好きな物を食べたい」「静かにゆっくりしたい」「犬を飼いたい」などなどの回答があったということです。

●「今いるところ」にした理由として （全道の速報値より）

【「安心」17.5%】、【「楽しい」14.0%】、【「助けてくれる」13.5%】、【「相談できる」10.8%】となっています。

その他の声として「年だからこのままでいたい」「ごはんがおいしい」「みんなと一緒にいると楽しい」「お金のことが心配」「家に戻れないから」「リハビリできるから」「出身地にグループホームなどがあれば検討したい。」等などが回答にあったということでした。

「障がいを持つ人の地域生活を考えよう!!」

平成20年9月28日、中標津町経済センター「なかつまぶ」にて、釧根社会福祉士会との共催で、社会福祉セミナー～みんなで支え合う暮らしをめざして～を実施しました。その内容を釧根社会福祉士会の方に紹介していただきました。



基調講演第一部は、千歳市保健福祉部障がい者支援課長三崎直彦氏より「千歳市の障がい者が住みやすい街づくりへ～相談支援と地域自立支援協議会の実践から～」という演題でご講演頂きました。

千歳市の概要から始まり、千歳市の障がい者相談支援体制の概要、地域自立支援協議会（以下、協議会）の経緯、そして協議会の成果と課題についてお話を頂きました。

基調講演第二部は、千歳市障がい者総合支援センターChipセンター長 戸田健一氏より「障がい者が街で暮らすということ～支えあう暮らしをめざして～」と題しましてご講演を頂きました。

導入として、日本型福祉社会や障がい者政策の歴史を踏まえ、“支援者としてどのような視点をもつか”という理念に触れながら、障がい者の地域生活支援の概要について事例を交えてお話してくださいました。「人が生まれて老いていくまでのライフサイクルの中で支援を考えなければならない」という言葉が印象に残りました。

シンポジウムでは、シンポジストとして、吉田栄治氏（中標津高等養護学校進路支援部長）、木嶋加寿美氏（柏の実学園副施設長）、青山繁和氏（中標津町町民生活部惨事）、大佛英美氏（ぽれぽれの会会長）の四名、助言者として三崎氏、コーディネーターとして戸田氏に登壇して頂きました。

吉田氏は、中標津高等養護学校の概要と、卒業後（進路）の課題についてお話してくださいました。自立支援法施行後の生徒の進路について、メリットとデメリットを分かりやすく説明してくださいました。



木嶋氏は、障害者自立支援法が施行され新体系移行後の事業概要や利用者の状況について、また地域生活支援についてご自身の実践に基づいてお話を頂きました。

「〇〇だから出来ない」から「どうしたら出来るか考えよう」と思考のパラダイムを転換することが重要であるとお話を頂きました。

青山氏は、中標津町の障がい者を取り巻く現状を詳細なデータを基に説明していただき、今後の施策推進に向けた課題への取り組みについてお話して頂きました。

大佛氏は、ぽれぽれの会の実践—「喫茶サロン ぽれぽれ」—についてお話してくださいました。地域交流を目的として、誰もが社会参加できるスペースとして、大変有意義な場であると感じました。

今後、障がい福祉分野で実践される地域自立支援協議会と通じての民間協働の街づくりの取り組みが非常に大切だと実感できる1日となりました。

（報告：釧根社会福祉士会）



地域情報紹介コーナー

羅臼町地域活動支援センター「とっどる」

今回は、羅臼町が開設した地域活動支援センター「とっどる」にお邪魔してきました。
この地域活動支援センターは、障害者自立支援法の地域生活支援事業の一つであり、市町村が必ず行なわなければならない事業となっています。

羅臼町はこの事業を羅臼町社会福祉協議会へ委託し平成20年4月から本格稼働しています。



現在「とっどる」には4名の利用者が在籍し、月曜日から金曜日までの9:00~15:30の時間で活動しています。(土日・祝日は休み)

活動内容は流木アートや軽スポーツ、昼食準備・後片付けや掃除など一人一人にあった活動しています。

今回は流木アートを作成しているところを見学させていただきました。一つ一つ丁寧に真剣な表情で完成度の高い写真たてを作成していました。



他にも町の保健師や栄養士、高齢者のいきいきサロンとも連携しさまざまな活動をしています。

愛称である「とっどる」の由来は『ゆっくりでいいから、着実に一つずつ進もう』という想いが込められています。

今後の目標として、作品の展示・販売先を拡大し地域と積極的に連携をとり、自立した社会参加を目指したいということです。

また、企業などからの仕事の受託も目標の一つとなっているとお聞きしました。想定している仕事内容は、簡単な掃除(事務所の掃除やトイレ掃除など)、文書などの封筒入れ、夏は花壇整備や雑草抜きなど就労支援につながるような仕事があるとうれしいとお話していました。

このセンターの開設により、障がいを持った方が集い活動できる場所として意味のある大きな社会資源が誕生しました。



【利用の申込・お問い合わせ】

羅臼町保健福祉課

〒086-1892

北海道目梨郡羅臼町栄町 100 番地 83

電話 0153-87-2161

FAX 0153-87-2358

お知らせ

年末年始の事務所開設日のお知らせ

年末年始は下記の予定で事務所を開設（平常業務）しています。事務所の開設日以外（12月31日、1月1日～1月5日）は電話での対応となりますのでご了承ください。

	平成20年12月			平成21年1月					
	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
あくせす根室	平常業務	平常業務	お休み	お休み	お休み	お休み	お休み	お休み	平常業務
総合福祉センター 「プラット」	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
（建物内に入ることができない期間）									休館

*総合福祉センター「プラット」が休館日でも「あくせす根室」が事務所開設している期間は建物内に入ることが可能となっています。

精神障がい者を持つ家族の集い

心の病のことで悩んでいる家族、病院には行っていないが不安や悩みを抱えている家族の方たちが一緒に集う場として設定してみました。

お互いの悩みや問題を話し合い、経験をもとに情報交換をすることで、生活していくためのヒント、病気への理解、地域への啓蒙も含め少しでも家族の悩みが和らぐことに役立ってほしいと考えています。昨年度から数回実施して情報交換などを行っています。

お昼ごはんを持参して皆さんと一緒に話してみませんか？

突然の参加でもかまいませんのでお待ちしております。

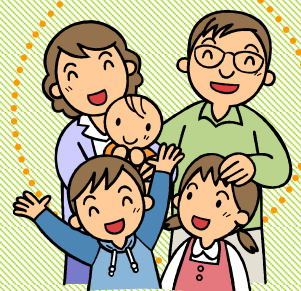
●日 時 平成21年1月18日（日） 11:00～13:00

●場 所 中標津町西10条南9丁目1番地4
中標津町総合福祉センター「プラット」 三世代交流室

●問合せ ・根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」
電 話 0153-73-3178
ファックス 0153-73-3179
・永 野 090-8373-9957

●参加費 無 料

●お願い 昼食などはお手数ですがご持参ください。



お知らせ

成年後見制度勉強会『市民後見人養成講座』の開催

先進諸国に比べて、制度の利用状況や普及などが遅れているわが国の現状と課題を踏まえ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、これからますます成年後見制度の普及啓発を図り、市民による成年後見に関する支援活動の推進を支援すべく、東京大学をはじめ関係団体との協働により、平成21年1月31日（土）及び2月1日（日）に市民後見人養成講座を開催いたします。

- 主催 社団法人 北海道社会福祉士会釧路地区支部
 - 対象 一般市民／保健・医療・福祉職の方など
 - 費用 2,000円（テキスト代）※受講日に徴収します。
 - 場所 釧路市総合福祉センター（釧路市旭町12-3）
 - お申し込み期限：1月28日（水）まで
- *この機会に是非受講して下さい。**



★詳しくは別紙をご覧ください。

【障がいの理解を求めて！】

障がいを抱え地域で生活する、障がい者が就労・生活のできる地域社会を現実なものとして行くために、地域住民の理解と支援の輪がひろがる事を目的とした普及啓発事業です。

- 開催日時 平成21年1月25日（日）13時開場、13時30分開演
開催場所 根室市総合文化館大ホール（根室市曙町1丁目40番地）
内 容 「シネマ&トーク・ライブショー」～障がいへの理解を求めて～
- ①アニメ映画 「もも子 かえるの歌が聞こえるよ」
 - ②トーク・ライブショー「車いすのシンガーソングライター 小西達也氏」
 - ③根室管内授産製品展示・販売（大ホールホワイエ）

*この事業は北海道の「施設拠点機能支援事業」を『特定非営利活動法人希望の家』が受託して実施します。

＜加整理券配布場所＞

- ・NPO法人希望の家
- ・喫茶のびのび
- ・根室市総合文化会館
- ・根室市社会福祉協議会

★詳しくは別紙をご覧ください。

お問い合わせ先

シネマ&トークショー実行委員会
電話 0153-24-3934

あとかき

あっという間にクリスマスを迎え、2009年を迎えようとしています。道東も冷え込む日が増え、インフルエンザも流行する季節となりました。体調など崩さぬようお過ごしください。

